

# 愛知学院大学の単位認定及び成績評価に関するガイドライン

2018.12.5 代表教授会決定

2019.4.1 施行

## (1) 目的

愛知学院大学の授業科目における単位認定及び成績評価の厳正な運用に資することを目的としガイドラインを定める。ただし、薬学部、歯学部の専門教育科目は、別に定める。

## (2) 単位数と学修時間

授業担当者は、単位制度の趣旨に鑑み、次のとおり授業運営に努めなければならない。

- ① 履修学生が授業時間外に必要な学修等（授業外での準備学習及び復習等）に充分に取り組むよう授業の運営に努めなければならない。
- ② 授業時間外に必要な学修内容や時間については、シラバスに提示し、授業中には履修学生に適切な指示を与えなければならない。
- ③ 授業時間外に必要な学修等の標準的な時間数は、「愛知学院大学学則」第7条の定めるところによる。

### ●週1コマまたは半期1コマ当りの標準時間数

授業科目区分	単位	週1コマ当りの時間数		半期1コマ当りの時間数	
		授業時間	授業外時間	授業時間	授業外時間
講義	2単位	2時間	4時間	30時間	60時間
演習	1単位	2時間	1時間	30時間	15時間
	2単位	2時間	4時間	30時間	60時間
外国語・スポーツ	1単位	2時間	1時間	30時間	15時間
実験・実習	1単位	2時間	1時間	30時間	15時間

## (3) 到達目標の設定

授業担当者は、ディプロマ・ポリシーやカリキュラムマップの到達目標との整合性に配慮しつつ、不断にこれを見直し、適性水準の到達目標の設定を心がける。

## (4) 試験

試験は、「愛知学院大学試験に関する規程」に定めるほか、次のとおり取扱うものとする。

- ① 授業を実施した科目について、単位認定に必要な成績評価のために定期試験またはレポート試験を行うことを原則とする。ただし、授業の性質等により他の適切な成績評価方法に代えることができる。

- ② 定期試験やレポート試験のほか、授業期間内での小テスト、レポートなどの課題、または授業への参加度などを成績評価の一部として含める場合には、シラバスの評価方法・基準の欄に評価全体に対する割合を記載する。なお、すべての授業に出席することが原則であるので、出席に対する評価は行わない。

## (5) 成績評価

授業科目の成績評価は、「愛知学院大学履修に関する規程」第6条に掲げる基準によるものとする。ただし、授業内容の性質により学部学科等において了承の上、ルーブリック等の評価基準において成績評価することができる。この場合、履修登録の前までに学生にその旨を提示しておかなければならない。

### ① 学則第9条に定める成績評価

評語	評価	ポイント	100点満点での 得点範囲	評価基準
AA	秀	4	90点以上	科目内容を修得し、極めて優秀な成績を修めた者
A	優	3	89点から80点	科目内容を修得し、優れた成績を修めた者
B	良	2	79点から70点	科目内容を修得し、良好な成績を修めた者
C	可	1	69点から60点	科目内容を修得したと認められる者
D	不合格	0	59点から30点	科目内容を修得したとは認められない者
E	不合格	0	29点以下	科目内容を修得したとは認められず、修得には再度の履修が必要である者

### ② 学則以外に定める成績評価

評語	評価	ポイント	評価基準
認	認定	—	他機関の判定に基づき科目内容の修得を認定する
K	不合格	0	試験を受けていない者
S	不合格	0	科目開講回数の三分の一を超えて欠席し、失格となった者

- ③ GPA (Grade Point Average) 制度は、「愛知学院大学 GPA 制度に関する内規」の基準にそって運用するものとする。なお、GPA 制度の活用は、学生の学修意欲向上以外に特待生の選抜、履修指導、学修支援及びカリキュラムの改善等に使用する。

#### ● GPA の総合評価

GPA	総合評価
4.000 ~ 3.400	秀
3.399 ~ 2.700	優
2.699 ~ 2.000	良
1.999 ~ 1.300	可
1.300 未満	注意

## (6) 最上位評価のガイドライン

- ① AA 評価の取得者数は、原則として、履修登録者数の合計の 20%以下とする。ただし、必修科目、能力別クラス編成科目、演習科目、履修登録者数の少ない科目(20 名以下)、学部学科等が指定する授業科目でこれによりがたい場合は適用除外する。
- ② 各授業科目等の成績評価の分布については、FD 活動の一環として、必要に応じて点検するものとする。